

味のよくしみた煮染めや色々な具が入った太巻き……みんな大好きだった母の手料理。私達が「美味しい」と喜べば、一層尻を下げ、嬉しそうだった母の笑顔も鮮やかに浮かびます。

戦中戦後のあの苦しい時代、計り知れぬ苦労を重ねながら私達を育ててくれた母。子ども達みんなに分け隔てなく深い愛情を注ぎ、若くして先立った父の分まで家族の歩みを見守ってくれました。晩年、孫やひ孫が訪ねてくれば、顔をくしゃくしゃにして喜ぶ母の姿があったものですが、私達子や孫、ひ孫の今が在るのも、頑張ってくれた母のお陰に他なりません。別れは辛いことですが、今はただ心からの感謝を込めて、「ありがとう」の言葉を伝えたく思います。母響 美智子は、平成二十二年一月二十日、満九十八歳にて生涯をどじました。これまで温かいお心で母を支えて下さった全ての皆様へ、深く感謝申し上げます。本日のご会葬誠に有難うございました。略儀ながら書中をもってお礼申し上げます。

平成二十二年一月二十一日

鹿児島県鹿屋市田崎町四五六七

喪主 長 男 響

嫁 響

二 男 響

嫁 響

長 女 響

親族代表 みち

一 朋 子 郎
次 聡 子 郎
順 浩 子 郎
外 親 族 一 同

宗 旨 仏 式 浄 土 真 宗 本 願 寺 派 西 樂 寺

尚 香 典 返 し の 儀 の 部 を、 勝 手 な が ら 『 鹿 屋 市 社 会 福 祉 協 議 会 』 に 寄 附 さ せ て 頂 き ま す の で、 ご 承 下 さ い。

(有)みち葬祭 謹製